

令和7年度 清瀬市立清瀬小第2学童クラブ保護者アンケート回答(案)

1. 運営概況(1ページ目掲載)

- **運営状況:** 指定管理者として運営を行っております清瀬市立清瀬小第2学童クラブは、保護者の方々から「学童が一番楽しい」「好きな居場所」といった高い評価をいただきました。この結果は、支援員が大切にしている「子どもに寄り添う姿勢」が日々の育成に活かされている証であると認識しております。
- **回答率:** 全対象者:61世帯 回答数:46名 回答率:75%
- **今後の方針:** 今後もいただいた温かいお言葉を励みに、下記の課題について改善を図ってまいります。

2. 課題と対策

課題(保護者の声)	対策(運営側の回答)
<p>・子どもは喜んでいますが親としては駄菓子が多いという印象です。・なかなか難しいと思うのですが市販のお菓子ではなく、給食のメニューを踏まえて栄養士さんが作ったおやつだといいのになと思っています P3 問 5-4.5</p>	<p>腹持ちの良いおやつを考慮してまいります。学童クラブのおやつはリフレッシュの意味合いも大きいですが、子どもたちの健康面も重視し、子どもが喜ぶおやつと栄養を両立できるよう、メニューの改善と工夫を継続いたします。</p>
<p>・両者悪い場合も先生はどちらか一方を悪いとし、悪いとされる子だけが、謝る 方式だからいやだと言っていました。 P6-問 11-1</p> <p>・きちんと子どもの喧嘩に耳を傾け仲裁してくださる姿に印象が残りました P14</p>	<p>トラブルが起きた際には、その場面だけで判断せず、関係する子どもたち全員から丁寧に聞き取りを行い、公平かつ双方が納得できる解決を目指します。支援員間でトラブル介入時の対応手順と聞き取りの徹底について研修を行い、職員の力量向上に努めます。</p>
<p>・そもそも、保護者からの要望が伝えにくいと思います。アプリにメッセージ機能がなくなったのは不便すぎる P7-問 14-</p>	<p>アプリの文字数制限等保護者のみなさまの利便性向上につながる情報共有ツールの改善についても運営側で検討を継続します。</p>
<p>・学童で宿題をしてこないの、家に帰ってきてからの時間がとても忙しいです。 学童で宿題をしてきて欲しいと子どもに話すのですがやはり遊びが楽しいので自主的にしてきません。宿題</p>	<p>学童保育は子どもたちにとっての「遊びと生活の場」です。そのため宿題の時間は特別設けておらず、子どもの自主性にまかせております。宿題についての声掛けは全体にいたしますが、学童での時間を有効に活用できるよう、まずは ご家庭で「宿題をどこ(学童か、家か)でするのか」について、約束を試みる</p>

<p>をする時間を設けて欲しいです P13 4-5・P14-14</p>	<p>のも一つの方法だと思います。学童での姿として、友達が宿題をしているのを見て「あ、自分もやろう！」と気が付いたり、わからない問題を子ども同士で教え合うなど、集団生活ならではの微笑ましい光景もみられます。学童クラブでも、保護者の皆様と一緒に、子どもの成長を温かく 見守る存在でありたいと願っています。</p>
--	---

3. 保護者からの温かいお言葉(1 ページ目掲載:保護者からの温かいお言葉)

- 「スタッフの方の名前や学童のできごとを、家に帰ってきてからよく話してくれませう。学童がお休みの日に『学童行きたい』と言うこともあり、楽しく過ごせているようです」
- 「慣れるのに時間がかかる子どもですが、よく寄り添ってくださっていると思います」
- 「私『学校と学童どっちが楽しかった?』と聞くと子ども『学童!』と、90%の確率で答えています。この答えが全てなのかと」
- 「おかげさまで毎日楽しく通っています。いろいろイベントも企画していただき、学校や家庭と同じように好きな居場所のひとつになっています。連絡がアプリになったのも、便利になりました」
- 先生たちがとにかく子供たち目線
- 安心して働けます。いつもありがとうございます！

保護者の方々からの温かいお言葉を沢山記載いただき、主任をはじめ支援員全員の励みとなりました。より一層、精進して参ります。